

(お知らせ)

定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所 2号機におけるシュラウド
点検装置の車輪の脱落および回収について

平成 17 年 10 月 8 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所 2 号機（沸騰水型、定格出力 110 万キロワット）は、平成 17 年 9 月 3 日から第 11 回定期検査を実施しておりますが、10 月 7 日午後 6 時 35 分頃、シュラウドの点検装置*を原子炉内から引き上げたところ、装置に 4 個付いている車輪（直径約 8 mm×厚さ約 3 mm）のうち 1 個が脱落していることを作業員が確認いたしました。

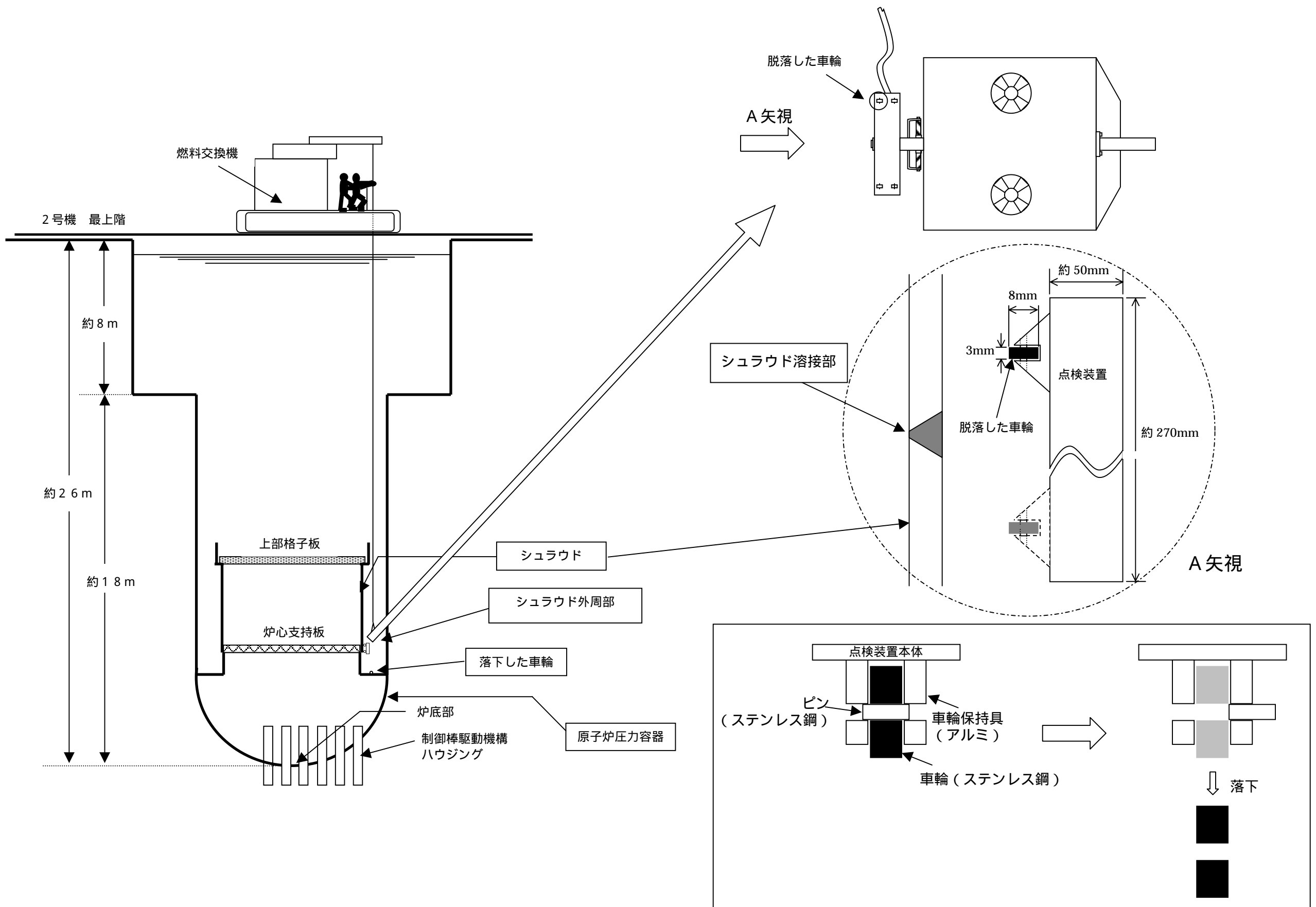
その後、シュラウド外周部を水中カメラで調査した結果、脱落した車輪を発見し、本日午後 12 時 05 分に回収いたしました。

原因は、当該車輪を保持しているピンの固定部が振動により磨耗してピンが緩み、車輪が脱落したものと推定していますので、今後はピンを確実に固定するための対策を施すことといたします。

以 上

*：シュラウドの点検装置

シュラウド溶接部のひび割れの深さを超音波によって測定する装置。



2号機シュラウド外周部の点検装置の概要